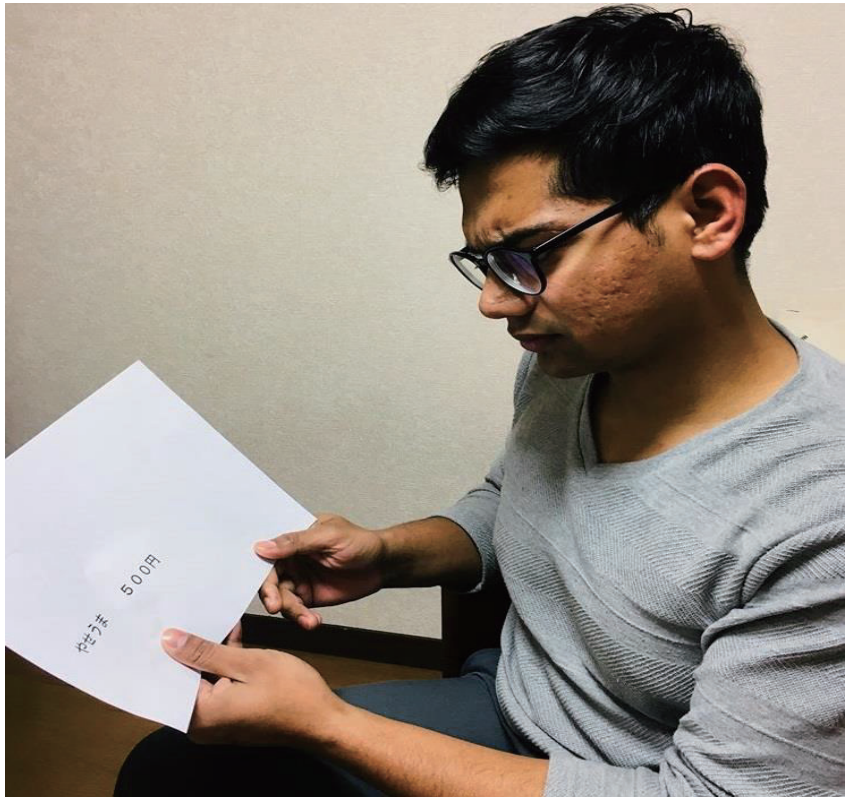
大分発 わくわく 読みものシリーズ

LEVEL 2

やせうま



「やせうま」を知(し)っていますか。

やせている馬(うま)ですか。

いいえ、やせうまは動物ではありません。
大分の有名な食べ物です。
食べたことがありますか。

これがやせうまです。

小麦粉で作ります。
うどんのような食べ物ですが、甘いです。
砂糖ときな粉で食べます。

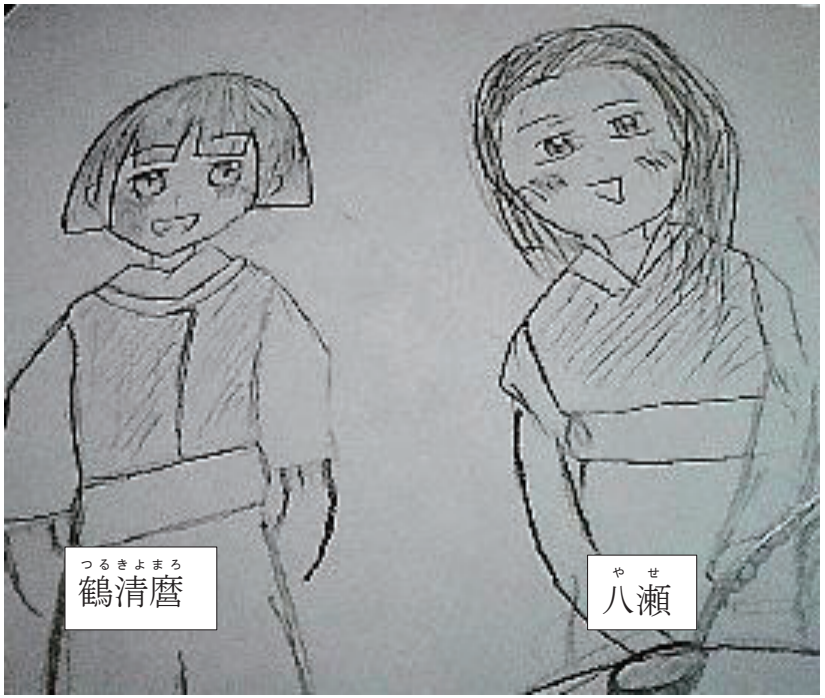
おもしろい名前ですね。

どうして「やせうま」という名前でしょうか。

平安時代(794-1192)にこんなお話があります。

京都のお金持ちの家に、鶴清麿という元気な男の子がいました。八瀬という女の人がこの男の子の世話をしていました。二人は、京都から大分に来て、生活を始めました。鶴清麿は近所の子供たちと毎日元気に遊んでいました。

ある日、鶴清麿はおなかがすいて、「おいしい物を作って」と八瀬に言いました。八瀬は、小麦粉ときな粉を使って甘い食べ物を作りました。



鶴清麿は「八瀬、うま、うま」と言いながら、ぜんぶ食べました。「うま」は、おいしいという意味です。鶴清麿は、これが食べたいとき、いつも「八瀬、うま、うま」と言いました。それで、この料理の名前は「やせうま」になりました。

やせうまは、大分で食べることができます。
350円～500円ぐらいです。
ぜひ食べてみてください。

著者　：　香月真由美
（大分発わくわく読みものをつくる会　会員）

協力　：　NPO多言語多読（https://tadoku.org）

写真提供：　別府市観光協会

写真協力：　Shaikat Hasan

渡辺若菜

甘味茶屋

イラスト　：　香月七海

参考資料：　『大分の伝統料理』(1988)　大分合同新聞社

『にっぽんのおやつ』(2015)　白央篤司

『挟間町誌』(1984)　挟間町誌編集委員会編

『挟間町の伝説と民話～古人より　第１集』(2004)　挟間町教育委員会編

この本の中のイラストや写真の二次使用を禁じます。

大分発
わくわく
読みもの
シリーズ